

平成30年度 行政評価表

所属部	都市基盤部	所属課	土木課	正職員数	17人	その他職員数	4人	電話番号 (内線)	055-983-2636 (内線2468)
-----	-------	-----	-----	------	-----	--------	----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	I 安全・安心に暮らせるまち
	基本方針	2 安全な暮らしを確保するまちづくり
	施策名	10 地震・水害対策の強化<地震・水害対策>

所管する施策の 方向一覧	I-2-10-(3)急傾斜地などの危険対策の推進
	I-2-10-(4)水害対策の推進

年度	H28	H29	H30	R01	R02
予算額 (千円)	156,081	157,163	150,996		
決算額 (千円)	100,736	143,648	111,246		
決算額の内 繰越明許分	-	37,719	4,226		

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。

※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。

※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額

※繰越明許:年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	R01	R02
普通河川改良延長	改良された普通河川の延長 (累計)	目標	31,470m	31,630m	31,760m	31,940m	32,090m
		実績	31,434m	31,788m	31,851m		
		進捗状況	順調	順調	順調		
急傾斜地崩壊対策工事済 み箇所	県・市が整備した急傾斜地 崩壊対策工事施工箇所	目標	27箇所	28箇所	28箇所	28箇所	29箇所
		実績	26箇所	26箇所	26箇所		
		進捗状況	順調	順調	順調		
		目標					
		実績					
		進捗状況					
		目標					
		実績					
		進捗状況					

施策の方向	I-2-10-(3)急傾斜地などの危険対策の推進
-------	--------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	徳倉中村地区については、県費補助金を利用して対策工事を行い、地権者との補償による対応業務を行う。 徳倉谷戸B地区は、県施工であるため地権者との対応などサポートして早期完成を目指す。 谷田眠り久保地区については、急傾斜地崩壊危険区域の指定に伴う用地測量・実施設計業務を実施する。 また、県の沼津土木事務所と合同で、急傾斜の指定を受けた箇所のパトロールを引き続き実施していく。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	徳倉中村地区については、県費補助金を利用し、残りの用地取得と、工事を実施し事業進捗を図る。徳倉谷戸地区については、県施工であるため、地権者との対応等サポートするとともに早期完成を要望していく。 また、県の沼津土木事務所と合同で、急傾斜地の指定を受けた箇所のパトロールを引き続き実施していく。 また、新たに指定される区域についてハザードマップを作成する。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	徳倉中村地区については、地権者との補償による対応も終了し、県費補助金を利用して順調に対策工事を進めている。徳倉谷戸B地区については、県施工部分について積極的に地権者対応等のサポートを行った。また一部市施行で行うことになり、地権者との用地買収を行った。市施行の谷田眠り久保地区及び県施行の谷田押切地区については、急傾斜地崩壊危険区域指定に伴う土質調査、基本設計を進めるとともに、県の説明会に参加する等、積極的にサポートを行った。又県の沼津土木事務所と合同で急傾斜地の指定を受けた箇所のパトロールを実施するとともに新たに指定される土砂災害警戒区域等の指定に基づき、ハザードマップの作成を始めた。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	徳倉中村地区については、引き続き、県費補助金を利用して対策工事を行い、早期完成を目指す。徳倉谷戸B地区については、県施工部分について積極的に地権者対応等のサポートを行っていくとともに、市施行部分については、引き続き地権者との用地買収を進めていく。市施行の谷田眠り久保地区及び県施行の谷田押切地区についても、詳細な設計を進め、県を積極的にサポートすることにより急傾斜地崩壊危険区域指定を目指す。又、県の沼津土木事務所と合同で急傾斜地の指定を受けた箇所のパトロールを実施するとともに、ハザードマップを完成させ、関係者に周知を図る。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針		行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02	改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	
1 急傾斜地崩壊防 止事業	1 急傾斜地崩壊危険指 定	急傾斜地崩壊危険指 定数(累計)	目標	29箇所	29箇所	29箇所	30箇所	31箇所	維持	
			実績	28箇所	29箇所	30箇所				
			達成状況	未達成	達成	達成				
	2 急傾斜地崩壊危険指 定	急傾斜地パトロール 回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持	
			実績	2回	2回	2回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 急傾斜地崩壊防止事 業	県・市が整備した急傾 斜地崩壊対策工事施 工完成箇所	目標	1件	1件	1件	0件	1件	維持	
			実績	0件	0件	0件				
			達成状況	未達成	未達成	未達成				

施策の方向	I-2-10-(4)水害対策の推進
-------	-------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<p>一般河川整備事業については、仮設方法等経済性を考慮し整備延長の増加に努める。</p> <p>河川占用事務については、引き続き申請に内容を適正に処理し、占用者への指導を実施していく。</p> <p>水閘門操作については、9地区へ点検・清掃を委託し操作員の研修を実施していく。</p> <p>河川維持修繕事業では、市内普通河川を良好な状態に保つため、計画的に浚渫や樹木伐採等を実施していくほか、河川への雨水流出抑制施設の保全を行っていく。</p>
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<p>一般河川整備事業については効率的な工法の選定や仮設方法を実施し、整備延長の増加に努める。</p> <p>河川占用事務については、申請の内容を適正に処理し、占用者への指導等を実施していく。</p> <p>水閘門操作については、樋管等の施設がある地元の9自治会等へ施設の点検・清掃を委託し、操作員の研修を実施する。</p> <p>維持修繕事業は桜川・御殿川の堆積状況をみながら、雨水流出抑制施設を含め必要な箇所を浚渫を実施する。また、市内の普通河川を良好な状況に保つため、護岸の修繕や、河川断面を阻害する土砂の撤去・倒木処理などを実施する。</p>
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<p>一般河川整備事業については、予算どおり事業を進め、整備延長の増加に努めた。</p> <p>河川占用事務については、申請の内容を適正に処理し、占用者への指導も実施した。</p> <p>水閘門操作については、樋管等の施設がある地元の9自治会への点検・清掃を委託し操作員の研修を実施した。</p> <p>河川維持修繕事業では、市内普通河川を良好な状態に保つため、計画的に浚渫や樹木伐採等を実施していくほか、河川への雨水流出抑制施設の保全として北中学校の雨水貯留浸透施設の浚渫を行った。</p>
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<p>一般河川整備事業については、仮設方法等経済性を考慮し整備延長の増加に努める。</p> <p>河川占用事務については、引き続き申請に内容を適正に処理し、占用者への指導を実施していく。</p> <p>水閘門操作については、地元9自治会等へ点検・清掃を委託し操作員の研修を実施していく。</p> <p>維持修繕事業は桜川・御殿川の堆積状況をみながら、北小学校及び三恵台調整池の雨水流出抑制施設の浚渫を実施する。また、市内の普通河川を良好な状況に保つため、護岸の修繕や、河川断面を阻害する土砂の撤去・倒木処理などを実施する。</p>
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 一般河川整備事業	1 一般河川改良	当該年度の河川改良延長	目標	162m	160m	130m	160m	150m	維持	
			実績	126m	354m	63m				
			達成状況	未達成	達成	未達成				
2 河川占用事務事業	1 河川占用申請の受理	河川占用申請の件数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	49件	30件	27件				
			達成状況	達成	達成	達成				
3 狩野川水系水閘門操作事業	1 狩野川水系水閘門操作委託	樋管等施設の正常時点検・清掃	目標	288回	288回	288回	288回	288回	維持	
			実績	288回	288回	288回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 狩野川水系水閘門操作委託	樋管等施設の操作研修	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	1回	1回	1回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 狩野川水系水閘門操作委託	洪水警戒体制発令	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	8回	7回	7回				
			達成状況	達成	達成	達成				
4 河川維持修繕事業	1 桜川外浚渫	河床堆積物の除去	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	1回	1回	1回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 破損箇所等の修繕	不良箇所の小破修繕、倒木処理	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	9箇所	12箇所	10箇所				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 校庭雨水貯留施設		目標	—	—	1校	1校	1校	維持	
			実績			1校				
			達成状況			達成				
	4 調整池浚渫		目標	—	—	2箇所	2箇所	2箇所	維持	
			実績			0箇所				
			達成状況			未達成				

施策の方向	I-2-10-(4)水害対策の推進
-------	-------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額 <small>(うち一般財源)</small>	決算額 <small>(うち一般財源)</small>	予算額 <small>(うち一般財源)</small>	決算額 <small>(うち一般財源)</small>	予算額 <small>(うち一般財源)</small>	決算額 <small>(うち一般財源)</small>	予算額 <small>(うち一般財源)</small>	決算額 <small>(うち一般財源)</small>	予算額 <small>(うち一般財源)</small>	決算額 <small>(うち一般財源)</small>			
1 一般河川整備事業(01.08.03.02.020.01)	102,639	(18,839)	126,377	(21,376)	115,171	(15,171)					維持		
	56,359	(10,559)	113,706	(21,806)	77,505	(7,037)							
2 なし											維持		
3 なし											維持		
4 河川維持管理事業(01.08.03.02.020.03)	6,100	(6,100)	5,110	(5,110)	8,380	(8,380)					維持		
	5,771	(5,771)	5,106	(5,105)	8,366	(8,366)							

